

# 世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関するアンケート調査結果

里川振興課

## 1 調査目的

岐阜県の「清流長良川の鮎」は、平成27年に国連食糧農業機関(FAO)より「世界農業遺産(GIAHS(ジアス))」に認定されました。そこで、世界農業遺産に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の施策の参考にさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

## 2 調査対象など

調査対象: 県政モニター 485人(うちインターネットモニター 278人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和元年8月21日～9月4日

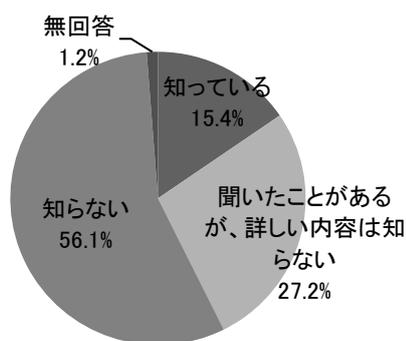
回収結果: 408人(回収率84.1%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。  
そのため、合計が100%にならない場合があります。

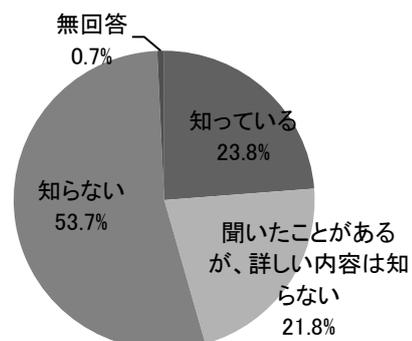
## 3 結果概要

### ○ 世界農業遺産の認知度について

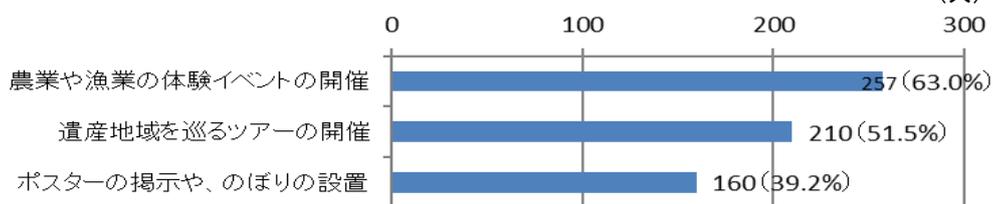
世界農業遺産の認知度



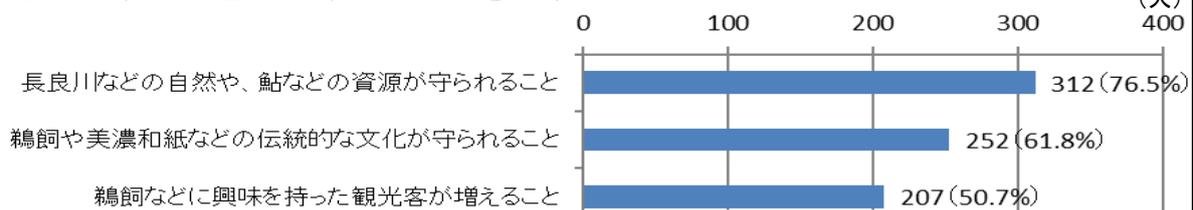
「清流長良川の鮎」の認知度



世界農業遺産「清流長良川の鮎」の認知度向上に有効な取組み(上位3つ) (人)



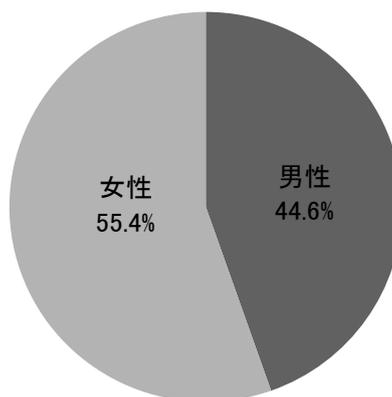
### ○ 世界農業遺産「清流長良川の鮎」登録により期待する効果について(上位3つ) (人)



## 4 回答者属性

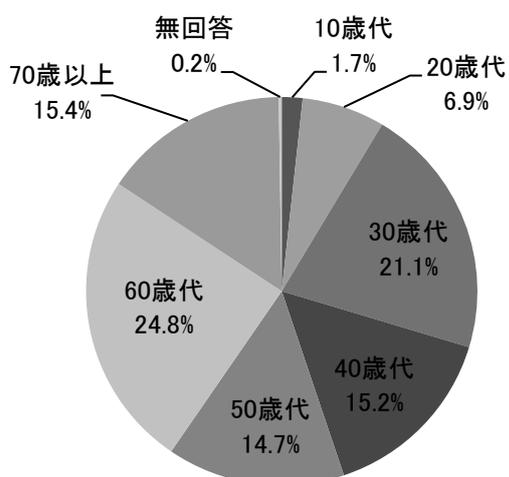
### (1) 性別

	人数	割合
男性	182	44.6%
女性	226	55.4%
計	408	100.0%



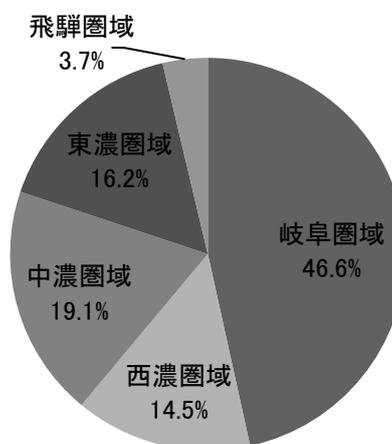
### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	7	1.7%
20歳代	28	6.9%
30歳代	86	21.1%
40歳代	62	15.2%
50歳代	60	14.7%
60歳代	101	24.8%
70歳以上	63	15.4%
無回答	1	0.2%
計	408	100.0%



### (3) 居住圏域別

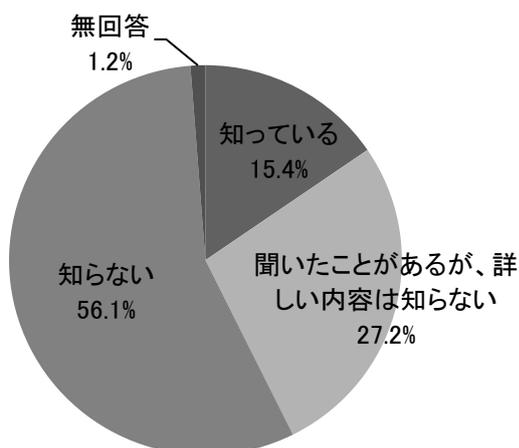
	人数	割合
岐阜圏域	190	46.6%
西濃圏域	59	14.5%
中濃圏域	78	19.1%
東濃圏域	66	16.2%
飛騨圏域	15	3.7%
計	408	100.0%



## 5 調査結果

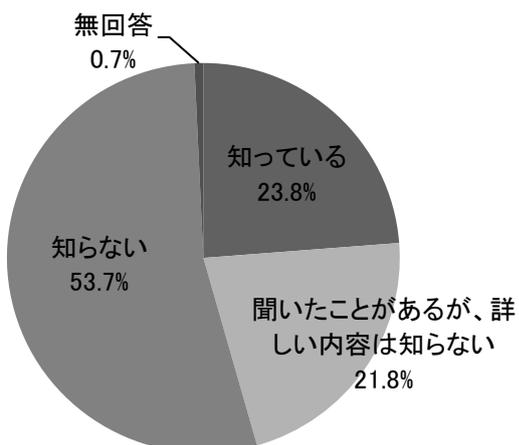
問1 あなたは、「世界農業遺産(GIAHS(ジアス))」をご存じですか。

	人数	割合
知っている	63	15.4%
聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	111	27.2%
知らない	229	56.1%
無回答	5	1.2%
計	408	100.0%



問2 あなたは、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたことをご存じですか。

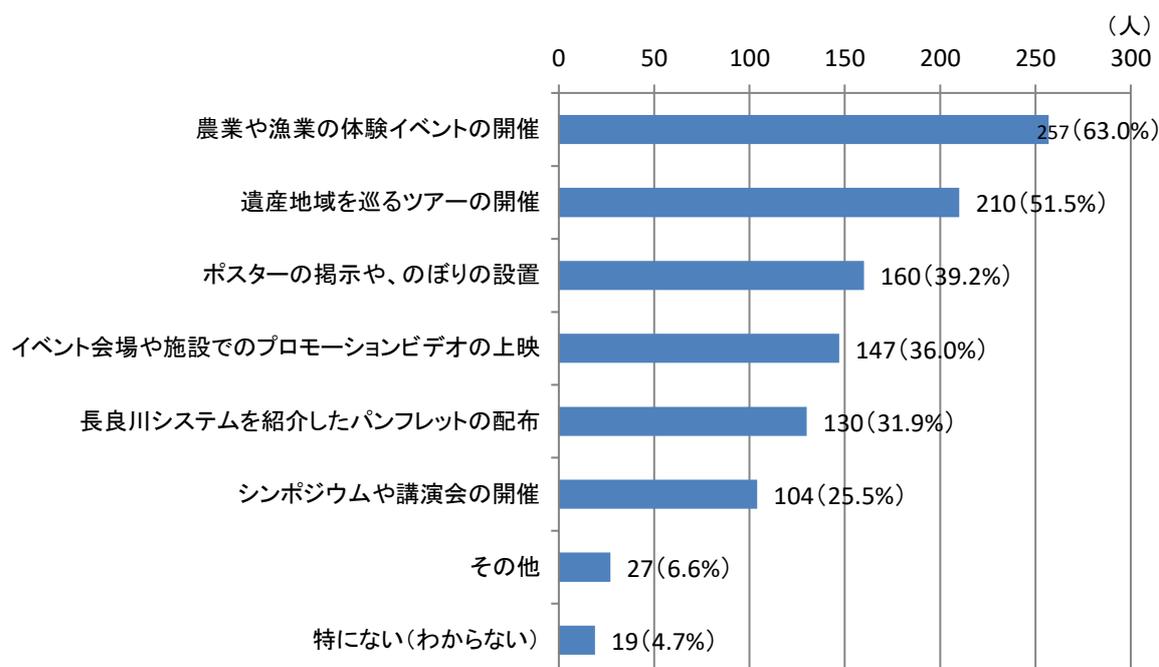
	人数	割合
知っている	97	23.8%
聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	89	21.8%
知らない	219	53.7%
無回答	3	0.7%
計	408	100.0%



問3 あなたは、世界農業遺産「清流長良川の鮎」を広く知っていただくために、どのような取組みが有効だと思いますか。

(複数回答) 回答者 408 人

	回答数	割合
農業や漁業の体験イベントの開催	257	63.0%
遺産地域を巡るツアーの開催	210	51.5%
ポスターの掲示や、のぼりの設置	160	39.2%
イベント会場や施設でのプロモーションビデオの上映	147	36.0%
長良川システムを紹介したパンフレットの配布	130	31.9%
シンポジウムや講演会の開催	104	25.5%
その他	27	6.6%
特にない(わからない)	19	4.7%
計	1054	-



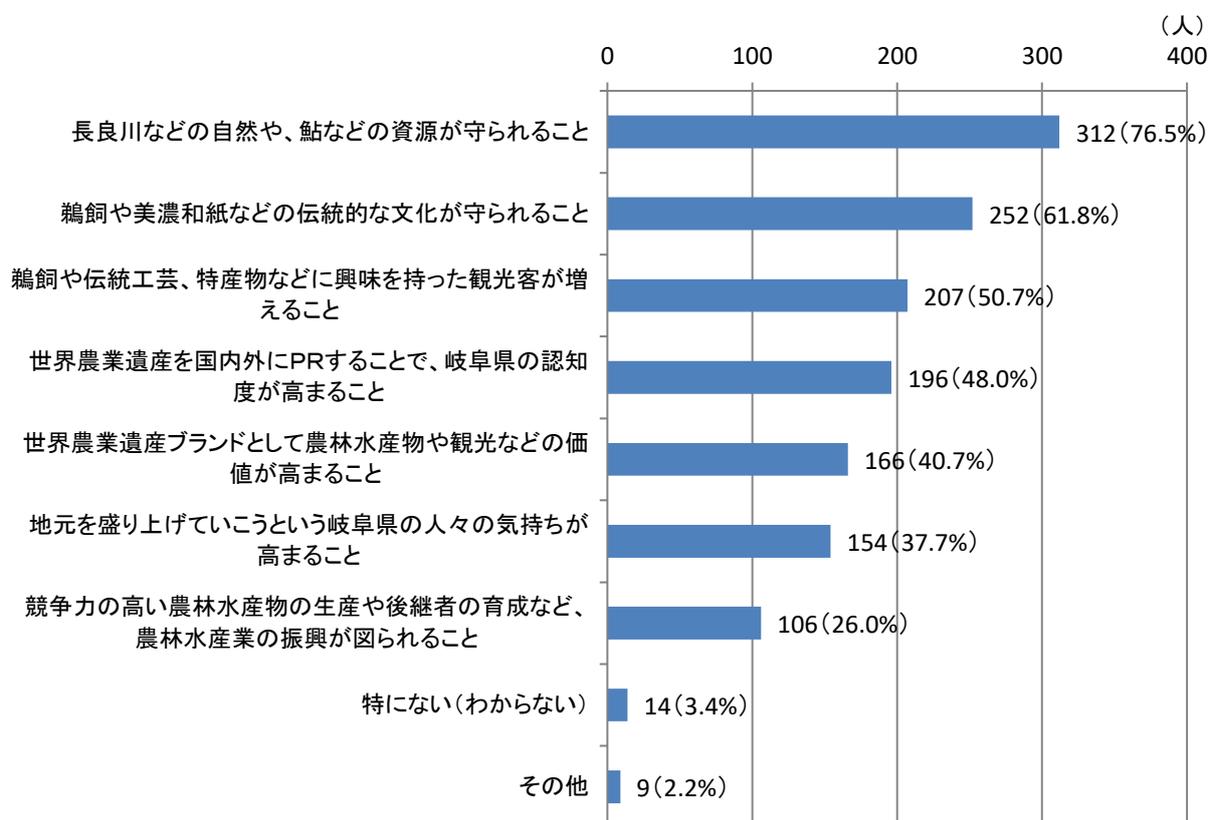
○ 「その他」のうち主なもの

- ・テレビや新聞等、メディアやSNS、大規模な駅を利用した広報活動。
- ・小中学生の体験授業や、他県の小中学生との体験合宿を実施する。
- ・市の窓口でビデオ等の映像を借りられるようにする。
- ・アンテナショップ等で商品を販売するとともに、観光もあわせてPRする。
- ・旅行パッケージやツアーに漁業体験や落ち鮎のイベントを盛り込んだツアーを売り込む。
- ・海外からのツアーに働きかける、空港にアピールブースを設置して体験ツアーを誘致。
- ・ブランド商品の開発、販売。
- ・イベント会場で鮎の塩焼きを安く食べられるようにする。
- ・鵜飼いに来てもらうために、駅からの便利なアクセス方法、舟に乗る場所の設備などを考えるべき。
- ・県民全員に鵜飼船の体験参加優待を行い、県民自身が体験できるようにする。
- ・友釣りの普及。

問4 あなたは、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に登録されたことで、どのような効果を期待しますか。

(複数回答) 回答者 408人

	回答数	割合
長良川などの自然や、鮎などの資源が守られること	312	76.5%
鵜飼や美濃和紙などの伝統的な文化が守られること	252	61.8%
鵜飼や伝統工芸、特産物などに興味を持った観光客が増えること	207	50.7%
世界農業遺産を国内外にPRすることで、岐阜県の認知度が高まること	196	48.0%
世界農業遺産ブランドとして農林水産物や観光などの価値が高まること	166	40.7%
地元を盛り上げていこうという岐阜県の人々の気持ちが高まること	154	37.7%
競争力の高い農林水産物の生産や後継者の育成など、農林水産業の振興が図られること	106	26.0%
特にない(わからない)	14	3.4%
その他	9	2.2%
計	1416	-

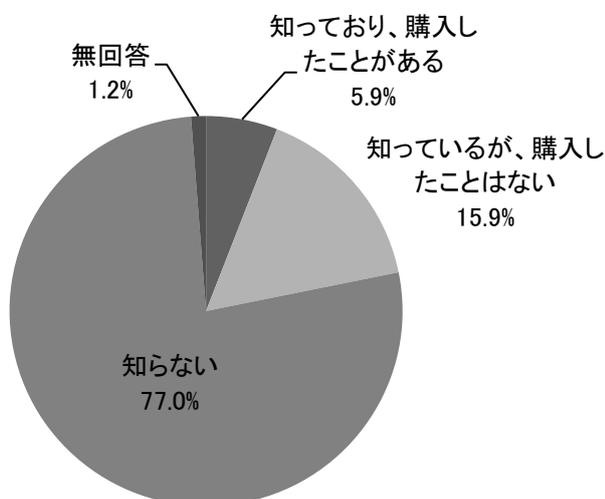


○ 「その他」のうち主なもの

- ・観光地としての魅力がUPし、岐阜県の経済効果となること。
- ・中津川市に住んでいると長良川の鮎と言われても、あまり関心が持てない。
- ・登録されたからと言ってすぐよくなるとは限らない。
- ・友釣り人口の増加。
- ・地元を盛り上げるということに関して岐阜人は無関心の人が多いと思う。
- ・世界遺産に登録されることがどれほどの価値があるのかよくわからない。

問5 あなたは、「清流長良川の恵みの逸品」をご存じですか。

	人数	割合
知っており、購入したことがある	24	5.9%
知っているが、購入したことはない	65	15.9%
知らない	314	77.0%
無回答	5	1.2%
計	408	100.0%



問6 その他、世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。(主な意見)

- ・清流長良川の名に恥じないよう水質保全に取り組んでほしい。
- ・長良川の環境保全への取組みをこれからも地道に継続し、長良川流域の生物多様性、伝統、文化、景観などを次世代に引き継いでいきたい。
- ・清掃活動など私たちがもっと関わっていく必要があると思う。
- ・宣伝が少ない。もっと国内的にテレビ、インターネットでどんどん宣伝活動すべき。
- ・ユーザーに直接関わりがないので、イベントではなく日常に関われる仕組みがほしい。
- ・「清流長良川の恵みの逸品」を広くPRしてほしい。
- ・世界農業遺産「清流長良川の鮎」のことは知らなかった。岐阜県として県民や他の県へのアピールを考えてほしい。
- ・アユ料理のバラエティを増やすことと、家庭でできる手のかからないアユのおいしい料理法を、学校の家庭科の調理の時間に教えていく。
- ・スーパーで売られている養殖の鮎を口にする機会が多く、世界遺産「清流長良川の鮎」を実感している市民は殆どいないのではないかな。
- ・長良川以外の鮎も有名にしてほしい。
- ・長良川河口堰の運用を見直すべきではないかな。
- ・鵜匠さんが世襲制で少し不安。
- ・GIAHSのパフレットは、カラー写真がとても綺麗で保存している。孫にも見せたい。
- ・長良川から遠い地域ではどうしても知識、意識(誇り)が弱い。長良川を取り巻く地域の人々の知識、意識を高めることが第一歩。そのうえで鮎を岐阜県下全体にも増やし高めていく。